

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 時代

作成日: 令和 4 年 4 月 1 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員を育てる取り組み	コロナ禍の下、制限がある暮らしが長くなり、感染予防等、気を張り詰めて日々業務に当たっている職員のストレスチェック等に取り組み、無理が重なっていないか等、気を配っていく。また、研修受講の機会を積極的に確保して、職員のスキルアップに繋げていく。	個人面談を頻繁に行い、職員の悩みや要望を聴き取り、勤務体制や職場環境の見直しを行い、職員一人ひとりがゆとりを持って仕事ができる体制を目指していく。また、コロナ禍でのWeb研修受講や資格取得の奨励等、職員が向上心を持って仕事に取り組める環境を整えていく。	12ヶ月
2	37	災害対策	定期的に避難訓練を実施しているが、全員が、非常時に冷静に行動出来るかが不安であるため、訓練を頻繁に行える体制を整え、職員一人ひとりの意識と技術を高めていく。	職員が、職員と利用者役に分かれ、避難場所を特定し、目標タイムを設定して夜間想定訓練を行い、夜勤者が自信をつけるまで繰り返し訓練し、利用者が安全に避難場所で待機できる体制を整えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。